



地域の活動 掲示板

コリントボール作り



万田中央地区協議会

6/19

荒尾第三中学校美術部作品展



緑ヶ丘地区協議会

7/11

7/28 荒尾干潟の保全を目指して  
～第123回「熊日緑のリボン賞」受賞～

▶浅田市長(中)へ受賞報告をする西川会長(左)と祝原部会長(右)



熊本県内で社会奉仕や環境美化活動に取り組んでいる人々をたたえる「熊日緑のリボン賞」を荒尾干潟賢明・利活用協議会が7月10日に受賞し、浅田市長へ報告をしました。

干潟の生きもの観察会や清掃活動などを通じた、干潟の保全や啓発活動が評価され受賞したものです。西川幸一会長は「今後も、これまで以上に干潟の魅力アピールして、干潟の保全と賢明な利活用につなげていきたい。」と話していました。

6/29 きれいで住みよいまち荒尾を目指して  
～環境美化功労表彰式～

▶市では、6月を環境美化の月として、道路の清掃などを行っています



長年、ボランティアで市内の環境美化などの活動に尽力された方の功績を称えて、環境美化功労者表彰式を行いました。今年、野村京子さん、千成勇征さん、原田政信さん、村岡良一さんの4人を表彰しました。どなたも、道路や公園などのごみ拾いや草刈りなどを5年以上続けられ、住みよい環境のまちづくりに貢献されました。

式では、受賞者を代表して野村京子さんが謝辞を述べました。

6/29 「おかね」の大切さを知ってほしい  
～絵本「おかねってなあに？」の寄贈～

▶市長へ寄贈する絵本を手渡す荒尾商工会議所青年部役員皆さん



荒尾商工会議所青年部の清田聡会長より、『渋沢栄一が教えるお金の話の絵本「おかねってなあに？」』が寄贈されました。

絵本は、子供たちにお金の大切さを学んでもらうことを目的として日本商工会議所青年部が作製したもので、全国の公立図書館や小学校図書室へ配布されています。

荒尾市では寄贈された本を市立図書館や市内の小学校などに設置しています。

ハイ！ スクール通信  
High School communication  
- 市内高校通信 - Vol.25



岱志高校、有明高校、荒尾支援学校の市内3つの高校の取り組みや学生たちの様子などをお届けします。地元高校の新たな魅力の発見につながるかも！

有明高校・岱志高校生が栄養ワNDERを体験しました！

7月に、有明高校看護科3年生72人、岱志高校3年生フードデザインコース選択者11人が、「栄養ワNDER」と題した、市食生活改善推進員と市の管理栄養士による食育講座を受講しました。

1日の野菜摂取目標量を量って知る野菜の実測体験では「数字だけだと350gはそんなに多くない気がするけど、実際に量るとすごく多くて、全然足りていないと思った」との声が多く聞かれました。

また、グループワークでは、市における食や健康に関する課題について、どうやったら改善できるか、自分ならどのような行動をとるか、活発な意見交換を行いました。



生徒からの声

- ・親に任せきりではなく、自分自身で不足している野菜を摂ってみたいです。
- ・今日のことを家族にも共有しようと思いました。
- ・普段、朝ごはんを食べていないので何でもいので早く起きて食べようと思いました。
- ・いつも親から野菜が足りていないと言われている意味が今日、やっとわかりました。

7/15 工事の安全を祈願して  
～給食センター建設工事安全祈願祭～

▶工事の安全を祈願し、鉄入れを行う浅田市長



(仮称) 荒尾市・長洲町学校給食センターの建設工事安全祈願祭が執り行われました。荒尾市と長洲町は新学校給食センターの設計・建設段階から、運営に至るまで連携して取り組んでいます。この協議会による共同運営の取り組みは九州初の試みとなり、広域連携のモデルケースとなることが期待されます。新学校給食センターは令和4年9月の供用開始に向け7月から工事が始まっています。安心安全な学校給食提供のため、工事についてご理解をお願いします。

7/7・8 石炭給食おいしいね！  
～世界遺産登録6周年記念給食～

▶石炭をイメージした給食を、子どもたちは美味しく食べました



万田坑および三池炭鉱専用鉄道敷跡が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界遺産に登録された7月8日に合わせて、同じ三池エリアの大牟田市、宇城市とコラボして世界遺産記念給食を実施しました。献立は各市でそれぞれ考案し、荒尾市内の小・中学校では、黒い食材で石炭をイメージした特別メニュー「石炭ざくざく豆ごはん」を提供しました。

万田小学校の1年生はごはんが美味しいとみんな笑顔で給食を食べていました。